

【豊川と橋】

今月は、豊川を渡る際に日頃お世話になっている道路の「橋」について調べてみました。私の受け持ち区間には、河口に架かる「豊川橋」から 6km 上流の「吉田大橋」まで合計 5 つの「橋」があり、それぞれ重要な幹線道路が通って日々多くの車輛、人々が豊川を渡っています。以下、其々の姿と特徴などを下流から順にまとめてみます。

① 豊川橋

豊川が三河湾にそそぐ河口にあり、国道 23 号豊橋バイパスが通っています。豊橋市街地を通らずに浜松、田原、豊橋港方面と蒲郡、豊田、名古屋方面を結ぶ重要な産業道路で、豊橋市街地、国道 1 号、23 号の交通渋滞緩和にも寄与しています。現在、豊川橋の車線拡張工事（4 車線化）をしています。



② 渡津橋

豊川河口から約 2.5km 地点に架かり、国道 23 号線が通っています。豊橋と蒲郡を結ぶ主要道路で、私も蒲郡方面に行く際はたいていこの橋を渡ります。ここから右岸を下るとすぐ「清須河川敷公園」があります。



③ 上渡津橋

渡津橋の上流 0.7km 程の所にあり、県道 502 号豊橋環状線が通っています。渡津橋の混雑解消のために建設され、2004 年 12 月に開通した新しい橋です。



④ 豊橋（とよばし）

更に 2.5km 程上っていくと、「豊橋」があります。県道 496 号白鳥豊橋線（旧東海道）が通っています。銘板は「とよはし」となっていますが正式には「とよばし」と濁音読みのようなようです。歴史のある橋で、明治時代に架け替えた際、「吉田大橋」から改名し、豊橋の町の名の由来となったそうです。



⑤ 吉田大橋

「豊橋」から 0.5km 程上流に吉田大橋があります。国道 1 号線が通っており、名古屋方面から来てこの橋を渡ると、左手に吉田城、市役所が見え、渡り切ると豊橋中心街に至る、まさに豊橋の玄関口のような橋と言ってもいいと思います。

